あらかわ地区まちづくり協議会「荒川支所地域振興課自治振興室」☎0254-62-3102　つどい場「あら、ほっ」☎0254-62-7144

あらかわらばん

2022.10
(Vol.60)

まち協HP　https://www.love-arakawa.com/　Mail: love-arakawa@bz04.plala.or.jp

※本紙に掲載されている記事は、９月３０日現在の情報で制作しています。コロナウイルスの感染拡大状況などにより、イベントが中止となる場合があります。

ここらでひといきマルシェ

１１月５日（土）
午前１０時～午後３時
＜会　場＞つどい場「あら、ほっ」

あらかわ地区まちづくり協議会事業部会のGarden Labo.とハーブメイツあらかわによるイベントを、つどい場「あら、ほっ」で開催します！水害から２か月が経過し、街はこれから復興へと向かっていく時期に移っていきます。

ここらで、ちょっと一服がてら、「あら、ほっ」で一息つきませんか？皆様のご来場をお待ちしております。

販売　ラベンダー石けん、ラベンダーウォーター、染め物グッズなど

体験　アロマワックスクラフト　500円
ラベンダースワッグ　500円

無料体験　空ビンアート
（※花びんにしたい空ビンを持参ください）
チラシのエコバッグ作り

その他　デザイナーさん達によるフリーマーケット

午前11時～

元地域起こし協力隊の臥牛山さんによる
ちゃんこ鍋ふるまい
玉こんのふるまい

※なくなり次第終了

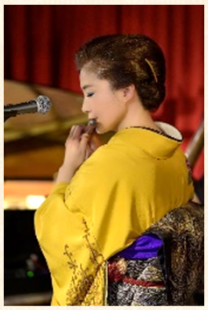
＜問合せ＞あらかわ地区まちづくり協議会　☎0254-62-3102

おとな時間を楽しむ会「日本の伝統楽器　篠笛とピアノの調べ」

関川村在住の田村優子さん（篠笛）と、新潟市の濱田道子さん（ピアノ）をお招きし演奏会を開催いたします。また、演奏会の休憩時間には、参加者同士の親睦を深める目的としてカフェタイムもありますので、ぜひご参加ください。

＜日　時＞　１１月６日（日）　午後１時３０分～　※２時間程度
＜会　場＞　つどい場「あら、ほっ」
＜定　員＞　荒川地区在住者２５名　※要申込み
定員を超えた場合は厳正なる抽選のうえ、
当選者には11月２日頃までにお知らせいたします

＜参加費＞　５００円（当日集金）
＜申込み＞　あらかわ地区まちづくり協議会　☎0254-62-3102



申込期限１０月２８日（金）

【プロフィール】田村 優子(たむら ゆうこ)さん

11歳まで、佐渡相川に暮らす。 篠笛奏者 狩野泰一氏に師事。2017年 『佐渡蛍』で CDデビュー。
篠笛と歌という 新たなジャンルで、独自の世界観を表現している。日本の叙情歌など懐かしい曲を得意とする。新潟県内外、海外公演を重ね、日本の伝統芸能を守りながら新たな世界観に挑戦しつづけている。
2022年9月11日CDアルバム『紅い月』リリース。

収穫の秋！金屋小学校全校児童で稲刈りを行いました！

９月１４日（水）に、金屋小学校で稲刈りが行われました。

金屋小学校の伝統行事となっている稲刈りは、ＰＴＡや地域ボランティアの皆さん、そしてＪＡにいがた岩船の職員の皆さんの協力のもと実施しています。子どもたちは、大人から稲刈り作業を教わりながら、刈り取った稲を一生懸命に藁で束ね、昔ながらの稲架掛けまでを行いました。

子どもたちの笑顔が溢れる稲刈りとなりました！

荒川中学校２年生のキャリアスタートウィーク（職場体験学習）

９月２７日（火）から２９日（木）までの３日間、荒川中学校２年生５人が、村上市荒川支所地域振興課自治振興室（あらかわ地区まちづくり協議会含む）に職場体験学習に来てくれました。

５人には、８月の水害に対して市役所職員がどのような業務を行っているのかについてや、実際の災害現場などを見学し、業務への理解を深めてもらいました。また、あらかわ地区まちづくり協議会の業務なども体験してもらいました。

生徒からは、「職場体験で水害の被害状況や災害対応などの業務について知ることができました。これからも荒川に住む一員として地域に寄り添っていきたい。」、「まちづくり協議会の活動では荒中出身の大学生が活躍していることも知ることができた。」、「学校生活で体験できない貴重な経験を沢山積むことができ、とても楽しかった」と感想をいただきました。

５人とも礼儀正しくあいさつがきちんとでき、職場体験で活動を共にした多くの地域の方々も笑顔がいっぱいでした。これからの時代を担う若者達からもたくさんの刺激をもらった３日間でした。

あらかわまちづくり 歴史探訪

Vol.15 (2022.10)

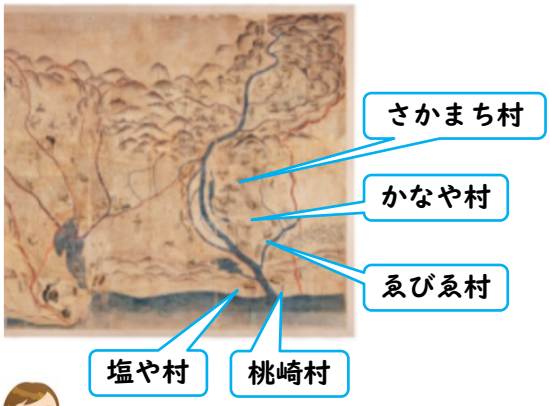
発行：支援・情報部会 須貝俊樹
監修：佐藤和一郎

あらかわには、あっと驚く歴史があります

安土桃山時代

【越後国瀬波郡絵図には、荒川付近の絵が描かれています】

越後では、太閤検地が文禄4年(1595年)に、領国検地が文禄5年(1595年)から慶長2年(1597年)にかけて実施され、瀬波郡絵図はその成果が反映されたものとされます。



【右図】「越後国瀬波郡絵図」（部分）
米沢市立上杉博物館・市立米沢図書館収納文化財 総合データベースより引用 1)

荒川付近を見ると、かなや村、ゑびゑ村、おゝづ村やさかまち村、荒川三港が描かれています。

荒川保は河村氏後、上杉氏の御料所（直轄地）となり、荒川三港（塩谷、桃崎、海老江）から干鰯、塩、茶などが荒川、米沢街道（塩の道）を通り米沢藩に運ばれ、米沢とこの地は深いかかわりがありました。

また、荒川保の最大の権益は、荒川の河川交易流通と内水面漁業とあります。

**私たち地元には、日本でも貴重な絵図が残っていたんだね！
荒川が交易や漁業においても大事な河川だったことがわかるね。
上杉氏と荒川の関わりを次回さらに調べてみよう！**

この地域は、米沢と深いかかわりがあったんだね！

1）https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/togodb/capt.php?ID=42373&lib_flg=0

あらかわ地区まちづくり協議会理事会・運営協議会を開催しました

１０月３日（月）に、あらかわ地区まちづくり協議会理事会・運営委員会合同会議を開催しました。当協議会の上半期の活動内容を総括し、下半期の活動予定などを協議しました。

また、新まちづくり計画策定については、住民を巻き込んだワークショップ開催や、住民アンケート実施などを計画していましたが、豪雨水害の発生による住民の心情を考慮し、今年度は勉強会などを通じて新たな仲間づくりを進めていきます。

江端理事長からは、「８月に豪雨水害が発生し、みんな大変な時期ではあるが、まちづくり活動の歩みを止めることなく、みんなで仲良く楽しく進めていきましょう！」とお話しがありました。

あらかわ互近所ささえ～る隊

毎月８日は「あらかわ♡ささえ愛の日」

【問合せ先】
荒川支所地域振興課地域福祉室
☎0254-62-3101（内線124、127）

坂町住宅区の茶の間訪問（7月16日）

７月１６日(土)に坂町住宅地区の茶の間の会に参加しました。
はじめに、ささえ～る隊から活動内容の紹介と坂町住宅地区の現状について説明させていただきました。

参加者に困り事や助け合っている事がないか伺ってみると

〇高齢世帯で除雪が大変になってきた。
〇隣が一人暮らしなのでおかずをおすそ分けしている。
　ゴミ出しの声掛けをしている。障子戸が開くか気にかけている。
〇庭の片付けや草取りを手伝っている。
〇気になるお宅には電話をしている。
〇一人暮らしのお宅に定期的に訪問したら笑うようになった。
〇家の事はできるし、隣近所で何かあれば助けに行ける状態なので
　この状態を維持したい。

など、様々な話を聞くことができました。

坂町住宅地区では、自然と『助け合い』の精神が芽生え、さりげなくやっているという印象を受けました。最後に行った助け合いゲームは盛り上がった中にも“互いに助け、人に甘えること”の大切さを感じました。

あらためて５年後、１０年後を見据えて地域に合った『助け合いのしくみ』をつくることの重要性について考えることができました。坂町住宅地区の皆様、有難うございました(^o^)／

（隊員　佐藤由架里）

編集あとがき　支援・情報部会　よこやま

８月初頭の水害・土砂災害から２か月と経ちますが、被害の大きいところでは今なお復旧作業が続いています。地域内外の多くの人の尽力により、当初に比べればずっと状況は改善され、かくも劇的な変化を起こす自然と人間双方に驚かされるものです。しかしながら、未だ災害の影響で苦労している人が多いというのが現状であります。

今回の水害は、烏川とこれに合流する大沢川や梨の木川などの氾濫、これらへの排水系での内水氾濫による被害が主たるものと見られます。荒川も結構な高さまで水位上昇しており、私のような素人目には結構危険な状態であったと感じたところです。今回の水害における被害状況を踏まえますと、荒川の堤防が決壊していた場合、ところによっては洪水ハザードマップの予測を上回る被害が生じていたと考えられるかもしれません。ほとんど被害がなかった・全く被害がなかった人も、今回はかろうじて助かったのだと考え、再建支援等に協力して頂けたらと思います。

令和４年度あらかわみらいファンド助成事業

夢絵本☆野いちご　夢ワクワク事業　「野上千恵子先生 講演会」

学校図書館司書として経験豊富な野上先生から絵本の効果やおすすめの絵本等について講演を行います。実際に、絵本の読み聞かせや手遊びも行いますので、お子様連れのご家族や、絵本に興味のある方はお気軽にご参加ください。

＜日　時＞　１０月２３日（日）　午後１時３０分～午後３時３０分

＜会　場＞　つどい場「あら、ほっ」

＜参加費＞　無料　※申し込み不要

＜問合せ＞　夢絵本☆野いちご　田島　℡０９０－２７５３－５４５６

【プロフィール】野上　千恵子(のがみ ちえこ)さん
新潟県立図書館に採用されたのち、県立高校に40年間勤務。その後、新潟県立図書館、新潟市立図書館にて子どもたちの読書活動に関わる。著書「ミヨキさんのざっと昔」（新潟日報事業社　2011年出版）の出版に対し、全国新聞社出版協議会より第5回ふるさと自費出版大賞郷土文化部門最優秀賞を受賞。

ふくちゃcafeからのお知らせ

ふくちゃCafeでは、管理栄養士・保健師による「まちの保健室」（令和4年度あらかわみらいファンド助成事業）を開いています。
子どもから大人まで、どの世代においても “こころ”と “からだ” の健康はかけがえのないものです。皆さんの健康を一緒に考えたい・守りたいと願い、栄養相談や健康相談をお引き受けします。

「食」に関することや「こころとからだ」について、気になることや不安なことなどがあれば、私たちにお気軽にご相談ください。

※ご自身のことだけでなく、ご家族や勤務先（職場での健康問題や対策）についても対応いたします。

【ふくちゃcafe】
https://hukutya-cafe.amebaownd.com/
村上市坂町1761-2　荒川眼鏡院のとなり
駐車場は建物裏手にあります

9月30日現在、復旧作業により臨時休業中ですが、相談業務は再開しています！

～ふくちゃ保健室のご利用にあたり～

相談内容は秘密を厳守いたします。プライバシー保護のため、ご相談は店内の一角にある相談室（半個室）にて行います。

【相談可能日時】月～水曜日および金曜日 …14：00 ～ 17：00
木曜日（完全予約制）　…10：00 ～ 17：00

【時間】1 回につき 30～60分

【料金】2,000 円（税込／ワンドリンク付き）　※初回は無料

【お問合せ・申込み】　冨田 ０９０－２１６３－０６９６

ふくちゃ部
～ふくちゃ部～
発達が気になる子どもやその家族を応援しています。
https://hukutyabu.amebaownd.com/

冨田 絵里子(管理栄養士)

乳幼児から高齢者まで、
「食」のことならおまかせください。

柏櫓 幸子(保健師/公認心理士/産業カウンセラー)

心や身体の不調など、
健康に関するモヤモヤを吐き出しにきてください。

荒川地区の事業者の皆さんへ「あらかわらばん」をご活用ください

水害からの復興に向け、荒川地区の事業者の皆さんを、まちづくり協議会の広報誌で応援します！

お店の営業再開のお知らせや、イベントやセール告知、クラウドファンディングを活用した取り組みの周知など、あらかわらばんに掲載します。あらかわらばんは、毎月１５日に荒川地区の全世帯に配布しています。掲載を希望の場合は、下記までお問合せください。

※公序良俗に反するものなどについては、掲載をお断りする場合もあります。

＜問合せ＞あらかわ地区まちづくり協議会事務局　℡０２５４－６２－３１０２

とある写真家Sのあらかわ散歩

第9回:「水害を乗り越える笑顔を撮る！」

8月に起きた水害で私達の町は
深刻な被害を受けました
今にも悲鳴が聞こえてきそうな‥

そんな坂町駅前に
姉妹で営む「Secret Fruits」がありました

現在は修理作業が進んでいるものの‥

借入もしながら‥それでも営業再開には
更なる資金が必要とのこと

そこで彼女らは
クラウドファンディング(※)
という方法に辿り着きました

※クラウドファンディングとは、インターネット上で自分の夢や想いを世の中に発信し、その活動を応援したいと思った方々から資金を募る仕組みのことです。災害支援やイベント、商品開発など様々な分野で活用されており、支援する金額に応じてお返し（リターン）もあります。

以前のような素敵な店内と
美味しいピザやパスタ

それらを堪能できる日を
待ち望んでおります

そしてこの笑顔が水害を乗りきっていけると信じております

水害で被災し苦しむ地域の仲間を目の前に、自分にどういった支援ができるのか悩んでいる皆さん、クラウドファンディングを通し救いの手を差し伸べてみませんか？

本日のベストSHOT！

「苦しい時こそ笑顔でいこう」

あらかわは負けない！写真家Sでした♪

Instagram(右QR)
イタリア家庭料理と洋食の店
Secret Fruits (@secret_fruits_)

他にも救いの手を待っている人たちがたくさんいます。何卒よろしくお願いします！

クラウドファンディングのページ(左上QR) https://readyfor.jp/projects/secretfruits ※実施期間は10月31日までです！

荒瓦版

撮影：伊藤龍人 PHOTO BY RYUTO ITO - October 2022 -